



学生家庭教師会
夏期講座

中2 英語I

はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

日本語・・・ 私は 英語を 勉強する。

<主語>

<動詞>

英語 ... I study English.

<主語>

<動詞>

～参考～

*<主語>とは
文の中で「誰が」「何が」
にあたる部分。

*<動詞>とは
動作を表す単語のこと。
日本語では述語といいます。

この2つの文を見比べてみてください。

日本語と英語の大きな違いは何だと思いますか？



はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

語順が違う

日本語・・・ 私は 英語を 勉強する。

<主語>

<動詞>

英語 ... I study English.

<主語>

<動詞>

私は

勉強する

英語を

日本語は
<動詞>が文の最後

英語は
<主語>の次に<動詞>

主語を訳したら、あとは後ろから訳すようにしましょう。

はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

英語と日本語では、語順が違う!
そのため、英文を訳すとき、
英文をつくるときには注意が必要です。

それでは、さっそく助動詞からおさらいしていきましょう!!





Lesson 1

助動詞・未来形の文

助動詞とは

助動詞は、動詞の原形とセットで使い、特定の意味を付け加えるもの

助動詞

can (～できる)
will (～だろう、～するつもり)
must (～しなければならない、～に違いない)
may (～してもよい、～かもしれない)
should (～すべきだ)

<過去形>

willの過去形	would
canの過去形	could
mayの過去形	might

must, shouldには
過去形はありません。



助動詞を使った肯定文の作り方

助動詞はいろいろあるけど、文の作り方は同じだよ。
肯定文の作り方からおさらいしよう。



<主語+助動詞+動詞の原形>であらわします。

動詞は時制で変化せず、必ず原形です。過去の文では助動詞を過去形にします。

現在の文

Mike cleans his room.
動詞の原形

Mike must clean his room.
助動詞 動詞

過去の文

Emi answered the question.
動詞(過去)

Emi could answer the question.
助動詞 動詞の原形
(過去)

(マイクは部屋を掃除しなければなりません。) (エミはその質問に答えることができま

助動詞を使った疑問文の作り方

疑問文

<助動詞+主語+動詞の原形~?>であらわします。

助動詞を文のはじめにおき、動詞は原形のままです。

It will be rainy tomorrow.

(明日は雨でしょう。)

Will it be rainy tomorrow?

(明日は雨でしょうか。)



助動詞を使った否定文の作り方

否定文

<主語+助動詞+**not**+動詞の原形>であらわします。

助動詞のうしろに**not**をいれます。

You **should** use it. (あなたはそれを使うべきです。)

You **should** **not** use it. (あなたはそれを使うべきではありません。)



助動詞 can

can

can は「～できる」(可能) 「～してもよい」(許可)の意味をあらわします。

[例文]

Taro **can** play soccer well. (タロウは上手にサッカーができます)

You **can** use this pen. (このペンを使ってもよいです)

Tom **can't** speak English. (トムは英語が話せません)



助動詞 can

過去 could

can の過去形は **could** 「～できた」 です。

[例文]

I **could** watch TV yesterday.
(私は昨日テレビを見ることができました)

Ken **could not** get up early this morning.
(ケンは今朝早く起きられませんでした)

助動詞 can

be able to ~

be able to ~ は「~できる」という意味の連語です。

be動詞の文なので、主語や時制によってbe動詞を使い分けます。

I can speak English.

(私は英語を話すことができます。)

I am able to speak English.



助動詞 can

be able to ~

[例文] Taro can swim. = Taro **is able to** swim.
(タロウは泳ぐことができます)

Can they cook? = **Are** they **able to** cook?
(彼らは料理ができますか)

We couldn't use it. = We **weren't able to** use it.
(私たちはそれが使えませんでした)



be動詞areの過去形はwereだよ。
canからbe able toの文に書き換える問題はよくるのでしっかり確認しよう。



助動詞 can

Can you~? Could you~?

Can you~? Could you~? は「~していただけますか。」と

相手に依頼するときに使います。

Can you~? より Could you~?のほうが丁寧な表現になります。

Will you~? Would you~?もほぼ同じ意味です。

[例文] Can you open the window?

(窓を開けていただけますか)

Could you tell me the way to the station?

(駅までの道を教えていただけませんか)



助動詞 can

Can I~?

Can I~? は「~してもいいですか。」と相手に許可を求める表現です。

May I~?もほぼ同じ意味です。

[例文]

Can I use this pen? (このペンを使ってもいいですか)

Can I try it on? (試着してもいいですか)



問題1 日本語の意味になるように並べ替えなさい。

(1) ユイは東京を訪れることができませんでした。

[Yui / visit / could / Tokyo / not].

().

(2) ケンは英語で手紙を書けますか。

[in / a / English / Ken / can / write / letter]?

()?

(3) ハルコはその歌を上手に歌えます。

[sing / the / well / Haruko / can / song].

().



問題1 日本語の意味になるように並べ替えなさい。

(4) 彼女はサッカーをすることができます。

[is / soccer / she / play / to / able].
().

(5) 私を手伝ってくれませんか。

[you / me / can / help]?
()?

(6) このコンピューターゲームをしてもいいですか。

[can / game / this / play / I / computer]?
()?



助動詞 must , have to

must

must は「～しなければならない」(義務)という意味です。

must not は「～してはならない」という**禁止**の意味をあらわします。

[例文] You **must** clean your room.
(あなたは部屋を掃除しなければなりません)

Must I wait for Yumi?
(私はユミを待たなければなりませんか)

You **mustn't** play the guitar here.
(ここでギターを弾いてはいけません)



助動詞 must , have to

have to~ has to~

have to~ は「~しなければならない」という意味の連語です。

mustとほぼ同じ意味です。

主語が三人称単数、現在ならhas to、過去形はhad toとなります。

疑問文はDo(Does,Did)を文のはじめにつけ、

否定文はdon't(doesn't,didn't)を使います。

[例文]

I **have to** go to bed now. (私はもう寝なければなりません)

Kenta **has to** stay home. (ケンタは家にいなければなりません)

Do I have to change trains? (電車を乗り換えなければなりませんか)

You **don't have to** hurry. (急ぐ必要はありません)

don't have to~は「~する必要がない」(不必要)の意味だよ。



助動詞 must と have to の違い

否定文での意味

must と **have to** は肯定文では「~しなければならない」というどちらも同じ意味ですが、否定文では意味の違いを明確にする必要があります。

must not (mustn't) ~してはいけない <禁止>

don't (doesn't) have to ~しなくてもよい、~する必要はない <不必要>

[例文] You **mustn't** play the guitar here. <禁止>
(ここでギターを弾いてはいけません)

You **don't have to** hurry. <不必要>
(急ぐ必要はありません)

助動詞 must と have to の違い

過去をあらわすとき

must の過去形はないので、過去をあらわしたいときは **had to** を使います。

[例文]

I **had to** do a lot of homework yesterday.

(私は昨日たくさんの宿題をしなければならませんでした)

助動詞 must と have to の違い

命令文と書き換え

命令文からYou must~, 否定の命令文からYou mustn't~
に書き換えることがあります。

[例文]

Wash your hands. = You must wash your hands.
(手を洗いなさい。)

Don't drive so fast. = You mustn't drive so fast.
(そんなに速く運転するな。)

問題2 次の英文を日本語にしてください。

(1) You must clean your room now.

(2) I must do my homework by 8:00 p.m.

(3) You must not eat snacks before dinner.

(4) You don't have to buy a cake.

助動詞 may , should , shall

may

mayは「~してもよい」(許可) 「~かもしれない」(推量)

の意味をあらわします。

[例文]

You **may** play a computer game.
(あなたはコンピューターゲームをしてもよいです)

May I use this bike?
(この自転車を使ってもいいですか)

Ken **may** have a good idea.
(ケンはよい考えがあるかもしれません)

He **may not** be from Saga.
(彼は佐賀出身ではないかもしれません)

May I~?とCan I~?では、
May I~?のほうが丁寧な
表現だよ。



助動詞 may , should , shall

should

should は「～すべきだ」(義務) の意味をあらわします。

mustやhave toより弱い表現になります。

[例文]

You **should** help your mother.
(あなたはお母さんを手伝うべきです)

They **should not** go there.
(彼らはそこへ行くべきではありません)

Should I wait for Emi?
(私はエミを待つべきですか)

助動詞 may , should , shall

shall

shall は疑問文で

Shall I~?「(私が)~しましょうか」、**Shall we~?**「(一緒に)~しましょうか」

という意味になります。

[例文] **Shall I** teach you English? (私が英語を教えましょうか)

Yes, please. / No, thank you. (はい、お願いします /
いいえ、結構です)

Shall we play tennis? (テニスをしましょうか)



問題3 日本語の意味になるように並べ替えなさい。

(1) お名前をお聞きしてもいいですか。

[I / your / may / ask / name]?
()?

(2) 明日は雨が降るかもしれません。

[tomorrow / may / it / rain].
().

(3) 彼女は家にいないかもしれません。

[be / she / not / may / home / at].
().

問題3 日本語の意味になるように並べ替えなさい。

(4) 写真は撮るべきではありません。

[not / a / picture / take / should / you].
() .

(5) 私たちはどこへ行くべきですか。

[we / should / go / where] ?
() ?

(6) 私が皿を洗いましょうか。

[the / I / dishes / wash / shall] ?
() ?



未来形とは

未来形とは、明日や来年のことについて、「～するつもりだ」「～する予定だ」などという文のことです。**be going to～, will** があります。

- ① **be going to～** 以前から決まっている予定をあらわす
- ② **助動詞 will** その場で決めた意志や未来の予測をあらわす

未来の文でよく使われる語
tomorrow (明日)
next week (来週)
next Sunday (次の日曜日)
next year (来年)

be going to～と**will**は同じ未来のことをあらわすけど、少し意味合いが異なるので覚えよう。



be going to～

be going to～ は「～するつもりだ」「～する予定だ」という
以前から決まっていた**予定**をあらわします。

be動詞の文

- 主語によってbe動詞を使い分ける
- 疑問文のときは、be動詞をはじめに持ってくる
- 否定文はbe動詞の後ろにnotを入れて文を作る

[例文]

Ken **plays** soccer.

Ken **is going to** **play** soccer.
be動詞 動詞の原形

(ケンはサッカーをする予定です。)

to の後ろは、
動詞の原形 だよ。



be going to～

be going to～ は「～するつもりだ」「～する予定だ」という以前から決まっていた**予定**をあらわします。

be動詞の文

- 主語によってbe動詞を使い分ける
- 疑問文のときは、be動詞をはじめに持ってくる
- 否定文はbe動詞の後ろにnotを入れて文を作る

疑問文

Is Ken going to play soccer?

to の後ろは、**動詞の原形** だよ。

否定文

Ken **is not** going to play soccer.



助動詞 will

will は「~しようと思う」「~するつもりだ」という話しているときに
その場で決めた意志をあらわします。

また、「~だろう」「~でしょう」と未来の予測や予想をするときにも使います。

助動詞の文

- 動詞の原形とセットで使う
- 疑問文にするにはwillを文のはじめにもってくる
- 否定文にするにはwillの後ろにnotを入れて文をつくる

[例文] Ken **cleans** his room.

Ken **will clean** his room.

助動詞 動詞の原形

(ケンはお部屋を掃除するつもりです。)

will notの短縮形は
won't だよ。



助動詞 will

will は「～しようと思う」「～するつもりだ」という話しているときに
その場で決めた意志をあらわします。

また、「～だろう」「～でしょう」と未来の予測や予想をするときにも使います。

助動詞の文

- 動詞の原形とセットで使う
- 疑問文にするにはwillを文のはじめにもってくる
- 否定文にするにはwillの後ろにnotを入れて文をつくる

疑問文 **Will** Ken clean his room?

否定文 Ken **won't** clean his room.

助動詞 will

Will you~?

Will you~? は「~してくれませんか」(依頼) の意味をあらわします。
Please~より丁寧な表現になります。

[例文]

Will you open the window? (窓を開けてくれませんか)

問題4

< >の指示に従って書き換えるときに()に入る語を答えなさい。

(1) Miho goes to the library with John. <未来の文に>
Miho () () to the library with John.

(2) Ms. Brown reads a book after dinner. <未来の文に>
Ms. Brown () () a book after dinner.

(3) They will play soccer next Sunday. <疑問文に>
() () () soccer next Sunday?

(4) Let's go shopping tomorrow. <ほぼ同じ意味に>
() () go shopping tomorrow?



「生きる」を創造する 
学生家庭教師会